

# 2023年度

## 日本史入試問題

(2023年2月4日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### [注意]

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れないでください。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（手動式・小型に限る）とし、それ以外の使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置いてください。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立たないでください。
7. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

【1】 民衆の歴史について述べた次の文章を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

縄文時代には身分や貧富の差はそれほど無かったと考えられているが、弥生時代になると<sup>(a)</sup>当時の墓制などから身分差が拡大したことがうかがえる。また、人口増加にともなう食料不足を補うことを目的に水稲耕作が普及するなかで、中国の歴史書に「倭国大乱」と記されているように、余剰生産物や水利をめぐる争いが各地でおこった。

やがて8世紀初めに律令制度が確立され、民衆には様々な負担が課せられた。そうした負担は、民衆にとって過重なものであったため、<sup>(b)</sup>税から逃れようとする行為が横行し、律令に基づく支配体制が大きく動揺した。そのような事態に対処するため、<sup>(c)</sup>政府は9世紀に、民衆の負担を軽くしたり、財源を強化したりする政策を実施するなど律令制度の再建をはかったが、根本的な解決には至らなかった。10世紀前半頃までには税制転換が行われ、政府は国司に一定額の税の納入を請け負わせるのと引き換えに、任地における大きな権限を容認した。任地に赴任した国司のなかには、「尾張国郡司百姓等解」で訴えられた **ア** のように巨利を得るために任地の民衆から搾取する者も現れた。

中世には<sup>(d)</sup>惣村とよばれる自治的な集落が形成され、用水をめぐる相論がおこった時などには荘園の領域をこえて広く惣村同士が連帯することもあった。惣村に住む農民たちは、<sup>(e)</sup>自らの要求を実現させるため一揆を結び、惣村の結合をもとに近隣の農民や武士などとともに蜂起したり、支配者を排除して一国全体で自治を実現したりすることさえあった。

江戸時代の幕藩体制下では、幕府や藩の財政の多くを本百姓が支える構造となっていた。本百姓が負担したのものには、年貢（本途物成）や小物成などのほかに、**イ** や国役などの夫役があった。江戸時代には何度も深刻な飢饉が発生し、そうした際には多くの百姓が年貢や夫役を納入することはおろか、日常生活を維持することさえ困難となり、一揆の発生も急増した。こうした状況をふまえ、<sup>(f)</sup>学者のなかには一揆の発生要因を分析する者もいた。

近代になると開国を経て、欧米列強並の文明国になることが志向され、明治初期から殖産興業政策が展開された。1880年代以降、日本においても軽工業を中心に産業革命がおこったが、同時に<sup>(g)</sup>労働者をめぐる問題も発生した。大正時代になると、ロシア革命や米騒動などの影響を背景として<sup>(h)</sup>各方面で社会運動が勃興した。自らの境遇の改善を目指した社会運動は、世界的な民主主義の潮流もあって隆盛したが、やがて戦時体制が確立された時期に入るとそうした動きは抑圧されていった。<sup>(i)</sup>再び民衆による運動が盛んになるのは、敗戦後のことであった。

問1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア－藤原信頼 イ－助郷役                      ② ア－藤原信頼 イ－高掛物  
③ ア－藤原元命 イ－助郷役                      ④ ア－藤原元命 イ－高掛物

問2 下線部(a)に関連して、弥生時代の墓制に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 多数の小規模古墳が密集した群集墳が日本各地に広まっていった。

Y 九州北部などでは地上に配された大石を特徴とする支石墓が営まれた。

- ① X－正 Y－正                                      ② X－正 Y－誤  
③ X－誤 Y－正                                      ④ X－誤 Y－誤

問3 下線部(b)に関連して、律令制度下の民衆の抵抗に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 戸籍に登録された本籍地から離れて浮浪する者がいた。  
② 免税のために政府の許可なく勝手に僧侶となる者がいた。  
③ 集落内の人々が一致団結して逃散することがあった。  
④ 成人男性を女性だと申告する偽籍が行われることがあった。

問4 下線部(c)に関連して、8世紀後半から9世紀前半の政策に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 桓武天皇は、一部の地域を除いて軍団と兵士を廃止して健児を採用した。  
b 嵯峨天皇は、国司交替の際の事務引継ぎを監督する勘解由使を設置した。  
c 徳政相論の結果、蝦夷征討と平安京造営という二大事業の打ち切りが決まった。  
d 税収不足を補うため、大宰府管内に直営田として官田が設置された。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問5 下線部(d)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

- ① 惣村は名主や組頭といった指導者を中心に運営された。
- ② 宮座とよばれる祭祀集団が惣村結合の中核をなした。
- ③ 守護は惣村内で秩序を乱した者を処罰する自検断を実施した。
- ④ 惣村の農民が個々に年貢などを納入する地下請が行われた。

問6 下線部(e)に関連して、室町時代の一揆に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 6

- Ⅰ 浄土真宗の門徒による加賀の一向一揆がおこった。
- Ⅱ 将軍暗殺をきっかけに嘉吉の徳政一揆がおこった。
- Ⅲ 近江坂本の馬借の蜂起を契機に正長の徳政一揆がおこった。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問7 下線部(f)に関連して、次の史料に関して述べた下の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選びなさい。 7

百姓町人大勢徒党して、強訴<sup>らんぼう</sup>濫放することは、昔は治平の世には、をさをさうけ給はり及ばぬこと也。近世になりても、先年はいと稀なる事なりしに、近年は年々所々にこれ有て、めづらしからぬ事になれり。…抑<sup>そもそもこの</sup>此事の起るを考ふるに、いづれも下<sup>しも</sup>の非はなくして、皆上<sup>かみ</sup>の非なるより起れり。今の世百姓町人の心も、あしくなりたりとはいへ共、能々<sup>よくよく</sup>堪がたきに至らざれば此事はおこる物にあらず。…然<sup>しか</sup>るに近年此事の所々に多きは、他国の例を聞て、いよいよ百姓の心も動き、又<sup>また</sup>役人の取<sup>とりはから</sup>計ひもいよいよ非なること多く、困窮も甚しき<sup>ゆえ</sup>が故に、一致しやすきなるべし。…近年たやすく一致し固まりて、此事の起りやすきは、畢竟<sup>ひっきょう</sup>これ人<sup>じん</sup>為にはあらず。上たる人深く遠慮をめぐらさるべきこと也。然りとていかほど起らぬやうのかねての防ぎ工夫をなす共、末を防ぐ<sup>ばかり</sup>計にては、止<sup>やみ</sup>がたかるべし。兎角<sup>とかく</sup>その因<sup>よつ</sup>て起る本<sup>もと</sup>を直さずば有<sup>ある</sup>べからず。その本を直すといふは、非理<sup>はから</sup>の計<sup>けい</sup>ひをやめて、民をいたはる<sup>これ</sup>是なり。假令<sup>たとひ</sup>いかほど困窮はしても、上の計<sup>けい</sup>ひだによろしければ、此事は起る物にあらず。

（『秘本玉くしげ』）

X 史料では強訴などがおこる原因は百姓ら自身にあるとしている。

Y 史料では、百姓一揆がおこらないようにするためには、為政者がもっと厳しい姿勢で統治すべき、としている。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

問8 下線部(g)に関連して、明治時代の労働運動や政府の対応に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 8

- a 高野房太郎らが労働組合期成会を結成し、労働組合の結成を促した。
- b 鈴木文治らが組織した友愛会が改称を重ね、階級闘争主義を強めていった。
- c 労働者を保護する工場法が制定され、即日で施行された。
- d 労働運動などを取り締まるため、治安警察法が制定された。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ① a・c | ② a・d | ③ b・c | ④ b・d |
|-------|-------|-------|-------|

問9 下線部(h)に関連して、大正時代の社会運動に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 9

X この人物を中心に黎明会が組織され、啓蒙運動が行われた。

Y これは女性の立場から社会主義運動を展開した団体である。

a 大杉栄

b 吉野作造

c 赤瀾会

d 青鞥社

① X - a      Y - c

② X - a      Y - d

③ X - b      Y - c

④ X - b      Y - d

問10 下線部(i)に関連して、戦後の民衆の運動に関して述べた次の文I～IIIを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 10

I 二・一ゼネストの決行がGHQの指令によって中止された。

II 岸信介内閣が条約批准を強行採決したため、安保闘争が高揚した。

III 沖縄の祖国復帰を求める運動が盛んになり、沖縄返還協定が結ばれた。

① I - II - III

② I - III - II

③ II - I - III

④ II - III - I

⑤ III - I - II

⑥ III - II - I

【2】 古代・中世の文化について述べた次の文章 A・B を読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 6世紀中頃、<sup>(a)</sup>仏教が伝えられたが、伝来当初の仏教は一部の豪族などが信仰していたに過ぎなかった。やがて7世紀前半には仏教中心の飛鳥文化がめばえ、この時期に高句麗僧の  が伝えたとされる彩色・紙・墨の技法はその後の文化の発展に貢献した。

飛鳥時代後半の白鳳文化期には、天武天皇により薬師寺などがつくられるなど仏教は興隆していき、<sup>(b)</sup>奈良時代に入ると政情不安や疫病の流行などを背景に鎮護国家の思想が隆盛し、国家仏教へと進展した。

<sup>(c)</sup>平安時代初期には、唐から帰国した僧によって密教がもたらされ、現世利益を求める皇族や貴族の信仰を集めた。密教はその後も発展していったが、9世紀後半頃より中国文化の十分な吸収をふまえて日本人好みに改良される文化の国風化が進むとともに、末法思想もあいまって<sup>(d)</sup>浄土教が流行した。国風化は文学においてもみられ、漢字から生まれたかな文字が発達し、菅原孝標の女が著した  など、かな文学が次々と生まれた。

問1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- |        |          |        |          |
|--------|----------|--------|----------|
| ① ア－観勒 | イ－『更級日記』 | ② ア－観勒 | イ－『蜻蛉日記』 |
| ③ ア－曇徴 | イ－『更級日記』 | ④ ア－曇徴 | イ－『蜻蛉日記』 |

問2 下線部(a)に関して述べた次の文 X・Y の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

X 百済の好太王から日本の欽明天皇に仏像や経論が伝えられた。

Y 蘇我氏は仏教を信仰し、氏寺である飛鳥寺を創建した。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X－正 | Y－正 | ② X－正 | Y－誤 |
| ③ X－誤 | Y－正 | ④ X－誤 | Y－誤 |

問3 下線部(b)に関連して、奈良時代の僧侶や仏教芸術の動向について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 13

- ① 玄昉が政府の禁止する民間布教を行ったため弾圧された。
- ② 唐から招いた鑑真によって室生寺が創建された。
- ③ 台座部分に仏教説話の絵画を描いた玉虫厨子が制作された。
- ④ 乾漆像の技法が発達して興福寺阿修羅像などがつくられた。

問4 下線部(c)に関連して、弘仁・貞観文化期の密教について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 14

- ① 天台宗は最澄の弟子によって密教化が進められた。
- ② 空海がもたらした真言宗の密教は台密とよばれた。
- ③ 密教の世界観を描いた来迎図が盛んに制作された。
- ④ 寄木造の技法を用いて密教と関わりのある仏像が制作された。

問5 下線部(d)に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 15

- Ⅰ 空也が京の市中で布教を行い、「市聖」と称された。
- Ⅱ 奥州藤原氏の出身の者が白水阿弥陀堂を建立した。
- Ⅲ 源信が念仏による極楽往生の方法などを示す『往生要集』を著した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ



B 平安時代末以降、戦乱があいつぐなど社会不安が広がり、多くの人々がよりどころや救済を求めた。そうした求めに応じる形で<sup>(e)</sup>鎌倉仏教と総称される新たな仏教がおこった。また、治承・寿永の乱の際の平重衡による焼打ちなどで南都の寺院が荒廃していたが、その復興の過程で<sup>(f)</sup>建築や彫刻の分野で制作が盛んに行われた。

室町時代には、<sup>(g)</sup>動乱の影響を受けた南北朝文化が生まれ、ついで北山文化が形成された。北山文化期以降には、仏教のなかでも禅宗（臨済宗）が幕府の保護を受けて発展し、書院造の建築物がつくられるなど禅宗の影響を受けたものが多くみられた。しかし、応仁の乱で幕府権威が失墜するのにもない、幕府の保護を受けていた禅宗は衰退していった。さらに戦乱は京都を主戦場にしていたため、京都の文化人や公家が地方に下り、<sup>(h)</sup>中央の文化が各地に伝播した。その一方で、<sup>(i)</sup>連歌など人々が集まって楽しむものも催され、様々な階層の間で人気を博した。

問6 下線部(e)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 

16
----

- ① 法然は専修念仏の教えを説いた『正法眼蔵』を著した。
- ② 親鸞は悪人こそが阿弥陀仏の救済対象だとする説を唱えた。
- ③ 栄西は題目を唱和することで救われると説いた。
- ④ 道元は病人の救済施設である北山十八間戸を建てた。

問7 下線部(f)に関連して、鎌倉時代の仏教芸術に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 

17
----

X 東大寺南大門は大仏様の建築様式で再建された。

Y 運慶・快慶ら奈良仏師が仏像などを制作した。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - 正 | Y - 正 | ② X - 正 | Y - 誤 |
| ③ X - 誤 | Y - 正 | ④ X - 誤 | Y - 誤 |

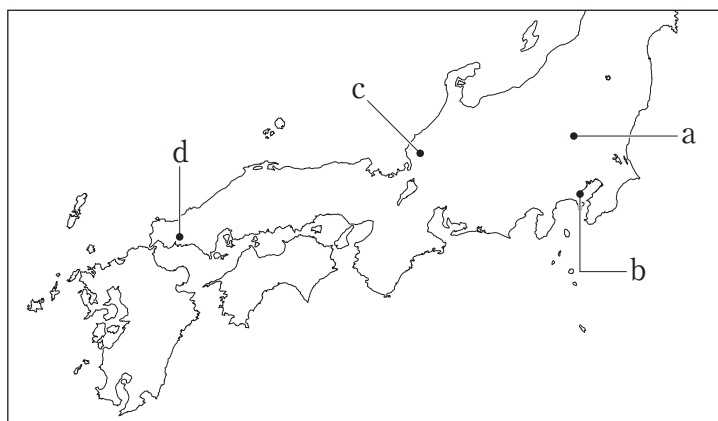
問8 下線部(g)に関連して、南北朝文化や北山文化に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 18

- a 南北朝文化期には、北朝の正統性を主張する『神皇正統記』が著された。
- b 南北朝文化期には、茶の産地を当ててかけ物を競う闘茶が流行した。
- c 北山文化期には、観阿弥・世阿弥父子によって猿楽能が完成された。
- d 北山文化期には、千利休によって静寂を重視する侘茶が創出された。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問9 下線部(h)に関連して、室町時代の地方文化に関して述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

- X 関東管領上杉憲実によって、この地にあった教育機関が再興された。
- Y 大内氏の城下町であるこの地には、多くの文化人が招かれた。



- ① X - a    Y - c                      ② X - a    Y - d  
 ③ X - b    Y - c                      ④ X - b    Y - d

問10 下線部(i)に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の

①～⑥のうちから一つ選びなさい。 20

- Ⅰ 宗鑑が俳諧連歌を創出して『犬筑波集』を編纂した。
- Ⅱ 正風連歌を確立した宗祇が『新撰菟玖波集』を編纂した。
- Ⅲ 二条良基が連歌の規則書である『応安新式』を制定した。

- ① Ⅰ - Ⅱ - Ⅲ      ② Ⅰ - Ⅲ - Ⅱ      ③ Ⅱ - Ⅰ - Ⅲ
- ④ Ⅱ - Ⅲ - Ⅰ      ⑤ Ⅲ - Ⅰ - Ⅱ      ⑥ Ⅲ - Ⅱ - Ⅰ

【3】 近世・近代の政治について述べた次の文章 A・B を読み、下の問い（問 1～10）に答えなさい。（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 戦国大名が群雄割拠するなか、<sup>(a)</sup>織田信長が全国統一事業を進め、信長の死後は豊臣秀吉が事業を継承して統一を実現させた。全国統一後、豊臣秀吉は外征にも意欲的で朝鮮侵略を実施したが失敗し、結果的に豊臣政権の没落を早める要因になった。

その後、関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康が征夷大將軍の宣下を受け、江戸幕府を開いた。家康にとって豊臣氏の存在は、実権を握り続けるためには障害であったため、豊臣氏ゆかりの  の鐘銘を口実に大坂の役を引きおこし、豊臣秀頼らを滅ぼした。大坂の役直後には<sup>(b)</sup>武家諸法度が制定されて大名統制がはかられ、以後代々の将軍ごとに発布された。さらに3代将軍徳川家光の頃までには<sup>(c)</sup>幕府の職制も整備されていった。

幼少の徳川家綱が4代将軍になると、将軍の叔父にあたる  などが補佐役として家綱を支えた。そうしたなか、法制の整備などにより秩序の安定を図ろうと、幕府は文治主義的な傾向を強めていった。その流れを受けて、<sup>(d)</sup>5代将軍徳川綱吉は湯島聖堂を建て、大学頭に林鳳岡を任じるなど文教政策を展開していった。

問 1 文章中の空欄  ・  に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ア－方広寺            イ－保科正之            ② ア－方広寺            イ－間部詮房  
③ ア－日光東照宮      イ－保科正之            ④ ア－日光東照宮      イ－間部詮房

問 2 下線部(a)に関連して、織豊政権に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 織田信長は、姉川の戦いで浅井氏と朝倉氏の連合軍を破った。  
b 織田信長は、樂市令を発して座の販売独占権を保障した。  
c 豊臣秀吉は、足利義昭を奉じて入京し、将軍職につけた。  
d 豊臣秀吉は、朝鮮出兵に備えて人掃令を出した。

- ① a・c                    ② a・d                    ③ b・c                    ④ b・d

問3 下線部(b)に関連して、次の史料に関して述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選びなさい。 23

- 一、文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事。
- 一、大名小名、在江戸交替相定むる所なり。毎歳夏四月中参勤致すべし。従者の員数近来甚だ多し。且は国郡の費、且は人民の勞なり。向後其相応を以て、之を減少すべし。…
- 一、新儀の城郭構営は堅くこれを禁止す。居城の隍壘（注）、石壁以下敗壞の時、奉行所に達し、その旨を受くべきなり。…
- 一、新儀を企て徒党を結び、誓約を成すの儀、制禁の事。…
- 一、五百石以上の船、停止の事。…

(注) 隍壘：堀や土塁のこと。

- a この史料は、2代将軍徳川秀忠が発布した武家諸法度である。
- b この史料は、3代将軍徳川家光が発布した武家諸法度である。
- c 史料によると、堀や土塁などが壊れた時には奉行所に届け出ることになっていた。
- d 史料によると、船の建造に関して制限がかけられることはなかった。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問4 下線部(c)に関連して、江戸幕府の職制について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 24

- ① 臨時の最高職として若年寄が置かれることがあった。
- ② 大名を監察する役職として大目付が設置された。
- ③ 役職をまたがる事項などについては主に老中が単独で裁決した。
- ④ 原則として1つの役職につき1人のみが就く仕組みになっていた。

問5 下線部(d)の政策に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

X 元禄小判へと改鑄し、小判に含まれる金の含有量を増やした。

Y 海舶互市新例を発し、長崎での貿易額を制限した。

- ① X - 正      Y - 正                                      ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                                      ④ X - 誤      Y - 誤

B 18世紀前半以降、財政難などを背景にあいついで改革が行われた。8代将軍徳川吉宗が主導した享保の改革では、積極的な年貢増徴策や<sup>(e)</sup>江戸における都市政策などが実施された。この改革の成果は一時的であったため、<sup>(f)</sup>老中田沼意次は商業資本を活用した財政難の克服をめざした。しかし、10代将軍徳川家治の死去にともない、意次は失脚した。

その後、寛政の改革・<sup>(g)</sup>天保の改革が行われたが、いずれも十分な成果は上げられず、幕府権力は衰えていった。一方で、藩政改革に成功し、<sup>(h)</sup>雄藩とよばれるまで台頭した藩も出現した。<sup>(i)</sup>19世紀半ばにはペリーが来航して開国を要求し、幕府の政局運営はさらに困難を極めていった。

問6 下線部(e)に関連して、江戸で起こった出来事や江戸で行われた都市政策に関して述べた次の文I～IIIを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 26

I 無宿人を収容して職業訓練を行う人足寄場が設置された。

II 江戸の大半が焼損した明暦の大火が発生した。

III 広小路などが設けられるとともに町火消が組織された。

- ① I - II - III      ② I - III - II      ③ II - I - III  
④ II - III - I      ⑤ III - I - II      ⑥ III - II - I

問7 下線部(f)の政策に関して述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 27

X 貨幣制度の一元化をめざして南鐐二朱銀を鑄造した。

Y 工藤平助の献策を受けて最上徳内らを蝦夷地に派遣した。

- ① X - 正      Y - 正                      ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                      ④ X - 誤      Y - 誤

問8 下線部(g)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① 株仲間を積極的に公認し、運上・冥加の増収をはかった。  
② 大名に一定の割合で米を上納させる上げ米を実施した。  
③ 洒落本作家の山東京伝や黄表紙作家の恋川春町を処罰した。  
④ 江戸と大坂周辺の地を幕府の直轄地にするため上知令を出した。

問9 下線部(h)に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

X この藩では調所広郷を中心に藩政改革が行われた。

Y この藩主は均田制を実施するなど本百姓体制の再建をはかった。

a 薩摩藩                      b 長州藩                      c 鍋島直正                      d 山内豊信

- ① X - a      Y - c                      ② X - a      Y - d  
③ X - b      Y - c                      ④ X - b      Y - d

問10 下線部(i)に関連して、幕末期の老中や大老について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 30

- ① 阿部正弘は、開国の是非をめぐり諸大名や幕臣にも意見を述べさせた。  
② 堀田正睦は、朝廷側の意見を取り入れて文久の改革を実施した。  
③ 井伊直弼は、勅許を得ないまま日米修好通商条約を結んだ。  
④ 安藤信正は、公武合体を進めるために和宮降嫁を実現させた。

【4】 近代の外交についてまとめた次の年表 A・B を読み、下の問い（問 1～10）に答えなさい。

A

1870年代	岩倉使節団が米欧に派遣される。 (a) <u>国境の画定が進められる。</u> [ア] を契機として不平等条約である日朝修好条規が結ばれる。
1880年代	(b) <u>朝鮮をめくり日本と清が対立する。</u>
1890年代	(c) <u>日清戦争で日本が勝利して下関条約が結ばれる。</u> [イ] などを内容とする日英通商航海条約が施行される。
1900年代	北清事変の際にロシアが満州を軍事占領する。 日露戦争が勃発した後にアメリカの仲介でポーツマス条約が結ばれる。
1910年代	(d) <u>韓国併合条約が結ばれる。</u>

問 1 年表中の空欄 [ア]・[イ] に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 [31]

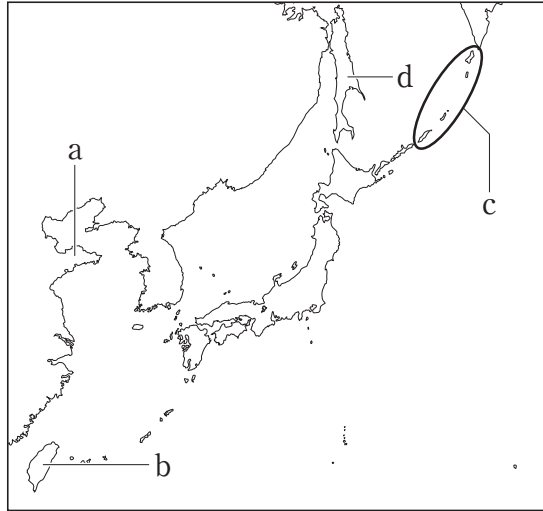
- ① ア－義和団事件      イ－領事裁判権の撤廃
- ② ア－義和団事件      イ－関税自主権の完全回復
- ③ ア－江華島事件      イ－領事裁判権の撤廃
- ④ ア－江華島事件      イ－関税自主権の完全回復



問2 下線部(a)に関連する出来事に関して述べた次の文X・Yと、地図中に示した場所a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 32

X 日本は琉球漂流民殺害事件を理由として、ここに軍隊を派遣した。

Y 樺太・千島交換条約により、ここはロシア領となった。



- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X - a | Y - c | ② X - a | Y - d |
| ③ X - b | Y - c | ④ X - b | Y - d |

問3 下線部(b)に関連して、1880年代の朝鮮半島情勢に関して述べた次の文I～IIIを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 33

I 閔氏政権が日本に接近するなか大院君を支持する軍隊がクーデタをおこした。

II 日清間で朝鮮への出兵時の事前通告などを規定する天津条約が締結された。

III 独立党の金玉均を中心とする勢力が日本の支援を受けてクーデタをおこした。

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| ① I - II - III | ② I - III - II | ③ II - I - III |
| ④ II - III - I | ⑤ III - I - II | ⑥ III - II - I |

問4 下線部(c)に関連して、日清戦争前後の動向に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 34

- a 日清戦争前、軍事的優位を確立するために日英同盟が締結された。
- b 日清戦争前、減税と排日などを求めて甲午農民戦争がおこった。
- c 日清戦争後、ロシア・アメリカ・フランスが遼東半島の返還を日本に要求した。
- d 日清戦争後、鉄鋼の国産化をめざして八幡製鉄所が建設された。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

問5 下線部(d)に至る過程の出来事に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 35

- ① アメリカは石井・ランシング協定で韓国に対する日本の指導権を認めた。
- ② 第2次日韓協約の締結にともない、韓国は内政権を奪われた。
- ③ 韓国皇帝が日本の不当性を訴えるために万国平和会議に密使を送った。
- ④ 独立運動家の李鴻章によって、伊藤博文が暗殺された。

B

1910年代	日本が第一次世界大戦に参戦する。 アメリカの提唱を受けて日本がシベリア出兵を実施する。 (e) <u>パリ講和会議が開かれてヴェルサイユ条約が結ばれる。</u>
1920年代	(f) <u>ワシントン会議が開催される。</u> 日ソ基本条約により日ソ間で国交が樹立される。
1930年代	(g) <u>満州事変や日中戦争がおこる。</u> ノモンハン事件で日本が大きな打撃を受ける。
1940年代	(h) <u>南部仏印進駐が実行される。</u> (i) <u>太平洋戦争が勃発する。</u>

問6 下線部(e)について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 36

X パリで開かれた講和会議には西園寺公望などが全権として派遣された。

Y 日本はヴェルサイユ条約で赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を得た。

- ① X - 正      Y - 正                              ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                              ④ X - 誤      Y - 誤

問7 下線部(f)で結ばれた条約について述べた次の文X・Yの正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 37

X 中国の主権や領土の尊重などを定める四カ国条約が締結された。

Y ワシントン海軍軍縮条約により、補助艦の保有比率が定められた。

- ① X - 正      Y - 正                              ② X - 正      Y - 誤  
③ X - 誤      Y - 正                              ④ X - 誤      Y - 誤

問8 下線部(g)に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 38

- ① 満州事変は、張作霖が爆殺されたことをきっかけにおこった。
- ② 満州事変の際に、日本は二十一カ条の要求を行った。
- ③ 日中戦争時には、若槻礼次郎首相が3度にわたり声明を発表した。
- ④ 日中戦争を機に国民党と共産党が提携し、抗日民族統一戦線が成立した。

問9 下線部(h)に対する各国の反応に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 39

- ① アメリカが経済制裁として、日本向けの石油輸出を禁止した。
- ② 満州とソ連の国境で日本軍とソ連軍が衝突する張鼓峰事件が起こった。
- ③ ドイツが共産主義拡大を阻止するため、日本と日独防共協定を締結した。
- ④ イギリスは日本がソーシャル＝ダンピングをおこなっていると非難した。

問10 下線部(i)に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 40

- Ⅰ 日本陸軍が、イギリス領マレー半島に奇襲上陸した。
- Ⅱ ミッドウェー海戦において、日本は主力空母4隻などを失った。
- Ⅲ ソ連が日ソ中立条約を無視し、日本に宣戦布告した。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ      ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ      ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

# 日本史(20230204) 解答一覧

大問	問	解答欄	正解
【1】	1	1	③
	2	2	③
	3	3	③
	4	4	①
	5	5	②
	6	6	⑥
	7	7	④
	8	8	②
	9	9	③
	10	10	①
【2】	1	11	③
	2	12	③
	3	13	④
	4	14	①
	5	15	②
	6	16	②
	7	17	①
	8	18	③
	9	19	②
	10	20	⑥
【3】	1	21	①
	2	22	②
	3	23	③
	4	24	②
	5	25	④
	6	26	④
	7	27	①
	8	28	④
	9	29	①
	10	30	②

大問	問	解答欄	正解
【4】	1	31	③
	2	32	④
	3	33	②
	4	34	④
	5	35	③
	6	36	①
	7	37	④
	8	38	④
	9	39	①
	10	40	①